

# 2000508

## 絵本学会 NEWS No.9

発行：絵本学会

発行日：2000年5月8日

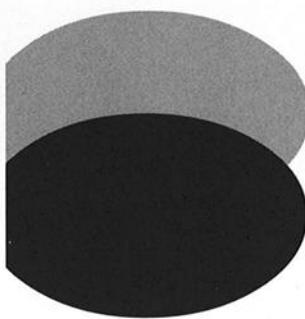
編集：絵本学会事務局・広報委員会

事務局：〒187-8505 東京都小平市小川町1-736

武蔵野美術大学芸術文化学科今井研究室内

TEL：042-342-6091 FAX：042-342-5173

<http://vcd.musabi.ac.jp/~ehongaku/homepage.html>



第1回絵本学会研究例会報告  
エリック・カール氏インタビュー  
シリーズ絵本美術館  
絵本フォーラム2000 のお知らせ  
伝言板  
インフォメーション 絵本関係展覧会・イベント  
事務局からのお知らせ

## 絵本学会

### 第1回絵本学会研究例会報告

絵本学会では、学会会員の絵本研究を推進するために、研究発表の機会を確保し、情報交換の場として生かしていくという目的から、絵本学会例会を開催することになりました。学会会員の研究をより確かなものとして進めいくために、どのような形のものが最も必要とされているのか、そのニーズを今後探っていくことが課題ですが、まず試みに例会の形を採用し、実施しました。葉書でご案内致しましたように、第1回目の例会は下記の要領で行われました。

日時：2000年3月4日（土）午後1時30分～3時30分

場所：日本児童教育専門学校（東京都新宿区高田馬場1-32-15）

発表者：岩崎真理子「昔話絵本に限界・可能性はあるのか？」

　　村中李衣「絵本・その開かれた空間・閉じられた空間」

司会：石井光恵

発表の詳細については、下記の発表者それぞれの発表要旨をご参照下さい。この日の例会は、大会の研究発表とは違って、いわゆる研究発表ではなく、共に研究し合っていく仲間となるための話題提供と考えよう、また絵本研究のフリートーキングの場を目指そうということで出発しました。企画者としては、フロアーからの活発な意見交換を期待したのですが、なかなか参加者も企画者も緊張がほぐれず、和気藹々とまでいかなかったのは残念でした。参加者は30名前後で、熱心な聴講者ばかりでした。やはり例会も積み重ねていくことが、研究の仲間づくりとしては必要であるように思われました。今回の例会では話題提供的にと考えましたが、積み重ねていくうちに、お互いにしっかり討論ができるようになることが期待されます。

次回については、6月に大会がありますので、それ以後9月か10月ごろに検討中です。また今後のおもしろいテーマとしては、コンピュータを活用した増成隆士氏のプレゼンテーションなども考えています。次回（9・10月頃開催目標）でも結構ですし、それ以後に

でも例会での発表を希望される方は、事務局へお申し込み下さい。たくさんのお申し込みをお待ちしています。

実りある絵本研究を目指し、学会会員が共に学び合い研鑽を積んでいくよい機会として、また絵本研究の情報交換の場として例会を作り上げていきましょう。（石井光恵／絵本学会運営委員）

### 3月4日例会発表 発表要旨

1) 岩崎真理子「昔話絵本に限界・可能性はあるのか？」

子どもに向けて絵本が生み出されてきたその歴史をふりかえると、絵本的要素をもった絵本の祖型ともいえる、ヨーロッパの一枚絵やチャップブック、日本の赤本などに共通していえることのひとつは、いずれも各國の昔話を題材にしたことがあげられる。

近代的絵本が登場し、文も絵もオリジナルな創作絵本が次々に創られても、昔話の絵本化は試みられ、昔話絵本の可能性に挑戦している。日本の絵本を調査したところ、戦後50年間のあいだに、50種類もの昔話絵本が様々な出版社からシリーズ化されて出版されている。（参考資料「かちかちやま」絵本）

昔話はもともと口承文芸であって、語りならではの構造や特徴をもっている。昔話絵本についての先行研究では、この点が問題点として論じられている。つまり、昔話絵本は、昔話なのか絵本なのかという二極分化的なところにその論点がある。昔話としての制限ともいえる限界と、絵本としての可能性について考える。

（岩崎真理子／日本児童教育専門学校）

2) 村中李衣「絵本・その開かれた空間・閉じられた空間」

絵本は、「読み」の場にひっぱり出された時、独自の「開かれた世界」と「閉じられた世界」の両面性をみせ始めるのではないか。

不特定多数の子どもたちを前に、いわゆるサービスとしての読み聞かせを行う場合、読み手は「開かれた世界」を支える個々の絵本の特質を敏感に察知し、その解放性を強調することで、子どもたちを開かれた世界の住人にしてしまおうとする。それは、なぞかけやしきけといった、読者への直接的な働きかけであったり、ことばや

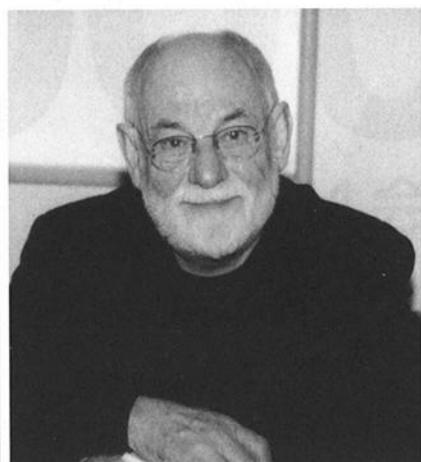
色のリズムであったり、音の響きであったり、滑稽さであったり…一方、特定の相手との心理的対話を含む絵本の読みあいの場合、読み手と聞き手が同時に、或いはどちらかがふいに、絵本がこちら（読者側）に向けて読み取られることを期待していなかったなにか（私はこれを絵本のすきまと呼んでいるのだが）に触れてしまうことがある。その瞬間、絵本は「閉じられた空間」に一変し、読者は、その「閉じられた世界」と関わることで、自己への洞察を深めたり、こだわっていたものと決別したり、ものがたり世界を通して、作者という他者の孤独に触れる経験をもつのではないか。

「閉じられた空間」へ入り込むいくつかの通路の中から、以下の三種の通路を紹介した。

1. 作者が描くことを通してみつけよう、みつめようとしているもの（読者に差し向けられた主題とは異なる）の存在を感じた時に開かれる通路  
『わたしとあそんで』『まどのそとのそのまたむこう』等
2. 読者の、自分を生きる物語りにそった解釈に、絵本の物語りが沿い始めた時（きっかけは、ことばだったり、絵だったり、メロディーだったり）に開かれる通路  
『がたんごとんがたんごとん』『これはのみのびこ』『だれかいます』等
3. 読者の物語りへの介入を阻み、毅然として物語りが在る時に、そこにみえる通路  
『がたんごとんがたんごとん』『かしこいビル』等

（村中李衣）

## ■ 絵本作家エリック・カールさんのインタビューを終えて



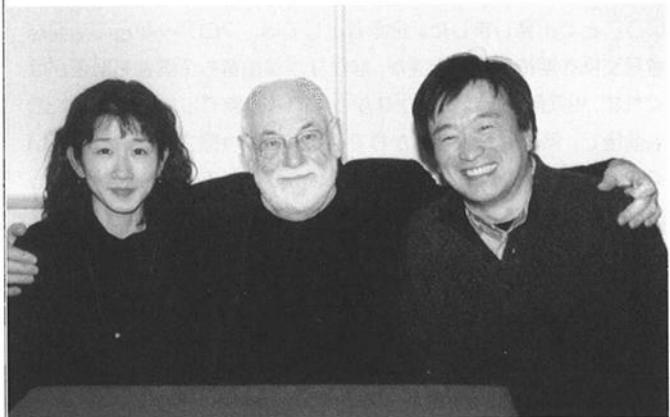
エリック・カール氏

『はらぺこあおむし』などで世界的に有名なエリック・カールさんが、群馬県高崎市の母親たちの招きで来日していたことは、新聞等で記憶されている方も多いことと思います。この機を逃さず、絵本学会でもエリック・カールさんにインタビューをお願いしました。インタビューの内容の詳細は、

只今企画進行中の絵本学会機関誌に掲載予定ですので、この「絵本学会NEWS」では簡単な概略だけご報告します。

インタビューは1月27日（木）に、カールさんご夫妻の東京での宿泊地であるフェヤーモントホテルで行われました。今回のインタビューのコーディネイトは、すべてインタビュアーの松本猛（絵本学会運営委員）さんが担当しました。お二人が永年の友人であることや、この度の来日で松本さんがカールさんのお世話役をされていることなどから、お互いの心が通いあつた、非常にリラックスしたインタビューとなりました。リラックスした雰囲気の中で、カールさんの飾らないお人柄が、ことばの端々に拝見できたのは何より素晴らしいことだったように思われます。通訳はちひろ美術館の中平洋子さんが担当されました。今回のインタビューは、松本さんが心して、カールさんの創作技法に迫ろうとするものでしたので、美術関係の話が多く中平さんの通訳が冴えました。カールさん自身も、今回のインタビューの質問がいつになく新鮮なものであったようで、インタビューが終わってから、奥様のバーバラさんにそう話されていたようです。

「薄い紙に彩色し、カッティングして、コラージュする方法は、いつどうして思いついたか」の質問に始まって、カールさんの使用する紙の魅力、コラージュの技法に話が及び、カールさん自身「僕は、ドローイングよりコラージュの方がよほどうまくコントロールできる」と答えしていました。今回高崎シティーギャラリーで開催された



左から通訳の中平洋子さん（ちひろ美術館）、エリック・カール氏、松本猛氏（絵本学会運営委員）

絵本原画展にタブローを出品されたことについては、「猛さんがタブローと呼んでいる作品群は、確か3年ほど前から製作しています。最近の作品は、多分、紙自体があまりにも美しいので、紙が僕に作品を作らせたんだと思います。」と答えていました。

カールさんの場合には、「絵本をオブジェとして見ているのではないだろうか。伝統的なイラストレーションの発送とは違うと思う。」という松本さんの質問には、「グラフィック・デザイナーとしての訓練による影響があると思う。グラフィック・デザイナーとして、パッケージデザインや立体のものをやっていて、広告業界では、よく『驚き』を追求しようとするところから、そういったことを広告の世界で身につけて、本に取り込むんです。」という答えでした。

最後に、エリック・カール美術館の構想についての質問、美術館設立の動機について、「ひとつに、僕は原画を売ったことがないんです。だから多分、絵本原画は全部で1200点ぐらいあるし、そのほかの作品は2000点以上あります。それが第一の理由。ふたつめに、僕は仕事の面で大変に運が良かった。非常に成功した、つまり経済的にです。自分もだいぶ年を重ねてきたので、いまは、還元する時だというふうに考えている」ということでした。美術館は、エリック・カール・ギャラリーとゲスト・ギャラリーのふたつの展示室を核として、さまざまな絵本作家の作品を紹介し、国際色豊かな絵本美術館にしたいということでした。その他にも、ワークショップの部屋、ストーリー・テリング、音楽、劇などをする多目的スペースのレクチャー・ホール、絵本図書室などを備える構想で、それらが夢いっぱいに広がっている画面を見せて下さいました。実現まで着々と進んでいるようでした。アメリカではありますが、完成したら、是非一度行ってみたいと思いました。

若々しい、あのエリック・カールさんの体にみなぎるエネルギーは、こうした夢と希望が支えているのでしょう。本当に楽しいインタビューでした。

インタビューが終わって、夕食を gioissimo に。カールさんは、何を所望されたと思います？意外や意外、なんと「寿司」でした。親日家とは伺っていましたが、マグロやいくら、鳥賀もOKで、本当に驚きました。(石井光恵／絵本学会運営委員)

ワークショップの風景



Illustration © 1996 by Eric Carle. All rights reserved.

## エリック・カールさんの ワークショップ報告

「絵本学会NEWS」No.8でご案内しましたエリック・カールさんのワークショップ「色で遊ぼう！紙で遊ぼう！～『はらぺこあおむし』のエリック・カールさんと～」が、1月30日（日）に東京青山のこどもの城で開催されました。絵本学会からも希望者が抽選で参加しました。

子どもと向き合うときの、カールさんはことさらに優しいまなざしで、紙の染め方から、コラージュの仕方をまずデモンストレーションし、ユーモアたっぷりに説明していました。実際に子ども達が製作にはいると、ひとりひとり見て歩き、励ましのことばをかけたり、ヒントを与えたり、それは嬉しそうな表情でした。最後に大きな大きな「はらぺこあおむし」をボードに製作し、子ども達といっしょに楽しんでいました。わたしたちギャラリーにも好意的に会場を解放して下さり、エリック・カールさんの製作方法をじかに見ることができました。

時間が限られていることもありますし、紙を染めることとコラージュすることが並行して行われますので、残念ながら自分の染めた紙でコラージュすることはできません（紙が乾きませんので）。そこでボランティアのみなさんの事前の大活躍が活用されました。壁面いっぱいに、ボランティアの人々によって染められた紙が貼られ、子どもたちはそこから好きな紙を選んで、コラージュにチャレンジしていました。紙の質も、指定されたものが日本では入手できず、いちばん近いものを使用するとか、苦労はいっぱいあったようですが、紙を染めながら自分が解放されていく気持を味わったり、いい勉強になったとのことでした。何よりも子ども達が元気いっぱい、思う存分楽しんでいました。（石井光恵）



# 0歳から100歳までの文学館

世田谷文学館 学芸係長 生田美秋

## はじめに

世田谷文学館は平成7年4月、世田谷区立の総合文学館として開館し今年開館5周年を迎えました。閑静な住宅地にある当館は、総ガラス張りのモダンな建物で、隣接する日本庭園を眺めながら、ゆったりとした気分で文学の世界にひたることができます。

施設は地上3階、地下1階建ての延べ床面積4600平方メートルの規模で、職員18名の内学芸課は13名、その内8名が学芸係に所属し企画展や教育普及活動（各種の催し物）を担当、4名は図書係に所属し資料の収集・保管、調査・研究、ライブラリー運営を担当しています。



世田谷文学館 外観

当館は、文学資料の収集・保管、調査・研究、展示、教育普及などの博物館としての機能をベースに「ジャンルの枠にとらわれない文学館」、「生き生きと活動する文学館」、「0歳から100歳までの文学館」をキャッチフレーズに活動する新しいタイプの文学館です。「0歳から100歳までの文学館」のキャッチフレーズの通り、全国にある400とも800とも言われる文学館の中でも、特に絵本や児童文学のジャンルを重要な活動の柱としている文学館です。絵本学会の会員の皆様には、設立以来の賛助会員として、年1回開催される絵本フォーラムの会場としてお馴染のことと思います。

## 絵本展—文学館ならではの絵本展をめざして

よく言われることですが、絵本は子どもが人生で最初に出会う“本”です。人間にとて最も大切な問題を、可能な限りシンプルに、絵本にしかできない方法で、分かり易く、楽しく表現したものが絵本です。沢山のすばらしい絵本と出会い、その楽しさ面白さを知つてもらいたい。そんな願いから毎年絵本展を開催しています。

美術館ではしばしば開催される絵本展・絵本原画展ですが、文学館

ではまだそれほど一般的ではありません。それだけに、文学館ならではの美術館とは異なる独自の視点での絵本展を心懸けています。絵本展を行う上で留意している点は以下の点です。

1. 単に原画を展示するだけでなく、講座や講演会、スライドやビデオによる作家や作品の紹介、作家の絵本が自由に読める絵本コーナーの設置など多彩な角度から絵本作家を紹介する。
  2. 完成した絵本の原画だけではなく、創作の過程を示す構想メモやラフスケッチなどを展示する。
  3. 原画の展示は、絵本のストーリーがたどれるよう表紙から裏表紙まで全画面の原画を展示する。
  4. 原画には必ず文を添え、子どもの目線に合わせて展示する。
- これまでの開催した絵本展は以下の通りです。

「いわむらかずお絵本原画展『雑木林のファンタジー』」平成7年開催  
ネズミの家族の心温まる物語を描いて絵本にっぽん賞を受賞した「14ひきのシリーズ」のほか、「トガリ山のぼうけんシリーズ」「ひとりぼっちのさいしゅうれっしゃ」などの原画約60点とラフスケッチ、ダミー、海外版絵本など資料約200点を展示。

「中川李枝子絵本の世界展」平成7年開催  
テーマの親しみやすさ、テンポのある文体で刊行以来ロングセラーを続けている「ぐりとぐらシリーズ」、「そらいろのたね」「いやいやん」など区内在住の中川さんと山脇百合子とのコンビによる絵本世界を紹介。原画65点のほか、海外版絵本を展示。

「谷内こうた絵本の世界展」平成8年開催  
ボローニャ国際児童図書展など国際的な絵本の賞を数多く受賞した谷内さん。子どもの心象風景を詩情豊に描く作品世界を、「なつのあさ」「のらいぬ」などの原画87点と、「週刊新潮」の表紙絵、海外版絵本を展示。リーフレット配布。



展示室

### 「林明子の絵本展」平成9年開催

子どもの表情、しぐさを的確にとらえた温かい画風で人気のある林さんの絵本世界を、「はじめてのおつかい」「おふろだいすき」「こんとあき」など、原画122点で紹介。リーフレット配布。

### 「五味太郎の世界展」平成10年開催

絵本表現の可能性を追求し、幅広い年齢層に人気のある五味さん。その作品世界を、「色の絵本」「季節の絵本」「ストーリー絵本」「ことばの絵本」「ユニークな絵本」に分けて原画約100点で紹介。リーフレット配布。

### 「『子どものとも』傑作絵本原画展」平成11年開催

戦後の絵本を代表する数々の名作を生み出した『子どものとも』の創刊500号を記念して、代表作20作品の原画約300点を前期、後期に分けて展示。

いずれも巡回展ではなく、当館で企画、開催しています。と言っても、毎回試行錯誤を重ねながらの開催で、充実した絵本展・絵本原画展のためには絵本館、美術館、文学館がそれぞれの経験をふまえて一度議論することが重要だと感じています。



展示室風景

### 「夏休みこども文学館」「子どものひろば」「文学カレッジ」「写真展・移動文学館」

「文学館を堅苦しい教養の場にするつもりはないのです。むしろ生きた、身近なメッセージとして文学作品を受けとり、楽しんでもらうことを、とくに若い人達、活字離れの世代につよく期待したい」館長佐伯彰一の開館に当たっての挨拶の一節です。幅広い年齢層に、気軽に来館していただき、楽しんでいただけるようにと力を入れている活動として絵本展のほかに、絵本や児童文学に関する各種の教育普及活動があります。

### 「夏休みこども文学館」 夏休み期間中

未就学児から中・高生までを対象に、「絵本創作講座」「映画上映」「ワークショップ」「文学館探険隊」「ブック・トーク」などを開催しています。「絵本創作講座」は、子どもたちが自分でストーリーを考え、文を書き、絵を描き、でき上がったページを重ねてのり付けし、表紙も自分で付け4日間で世界で1つしかない手作り絵本を完成させる人気の講座です。

### 「子どものひろば」 春休み期間中

期間中、おはなし会や講座、ワークショップ、アニメーションの上映会などを行っています。また絵本1300冊や童話・紙芝居が自由に読める〈絵本コーナー〉もあります。

### 「文学カレッジ」 2~3月

文学館の施設やノウハウを活用した全4回の講座です。この中には

「高田千鶴子・酒本美登里の絵本キャラクター創作講座」「伊藤洋子の絵本読み聞かせ講座」があります。昨年度の「絵本キャラクター講座」は、グリム童話「おおかみと七ひきのこやぎ」に挑戦。裁断済みのフェルトを使い、順を追って丁寧に指導、募集定員を上回る人気の講座です。「読み聞かせ講座」は、読み聞かせにふさわしい絵本の選び方の講義のほか、受講者が一人ずつ自分で選んだ絵本の読み聞かせの実習を行いました。お子さんへの読み聞かせや、幼稚園、保育園、図書館、文庫などのストーリーテラーの養成を目指す講座です。

### 「写真展・移動文学館」 春休み期間中

児童文学の名作の舞台を撮った美しい写真と、作品の引用や解説を加えた約50枚の写真パネルを展示する写真展です。これまでに、「アルプスの少女ハイジ」「赤毛のアン」「シャーロック・ホームズの倫敦」を開催、小・中学生や家族での来館が目立つ来館者の多い企画展です。企画展終了後は希望する区内の小・中学校へパネルを巡回する「移動文学館」を実施、昨年は10校に貸し出しました。

### おわりに

文学館とはいえ、絵本を児童文学のジャンルという狭い枠にとじ込める気はありません。美術や文学、さまざまな分野から多角的にアプローチすることで絵本の可能性も拓がっていきます。「幅広い視点からの絵本学の構築」を目指す絵本学会の活動に、文学館として貢献できればと思っています。

### 《インフォメーション》

財団法人 世田谷美術振興財団 世田谷文学館

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山1-10-10

TEL : 03-5374-9111 FAX : 03 - 5374 - 9120

【開館】10:00~18:00 (入館は17:30まで)

【休館日】月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12.29~1.3)、館内整備のための休館

【入館料】大人200円・大高生100円・小中生100円

・65歳以上・障害者100円

(企画展は内容によって観覧料が異なります。)

【交通】京王線 芦花公園駅 南口から徒歩5分

小田急線 千歳船橋駅からバス利用(京王バス歳23号線  
千歳烏山行) 蘆花恒春園下車 徒歩5分



# 絵本フォーラム 2000 のお知らせ

## ● 2000 年 子ども読書年

ードキドキワクワク 子どもの本ワールド共催企画

絵本フォーラム 2000 「こども・絵本・いのち」(案)

【日時】2000 年 8 月 6 日 (日) 11 時 00 分～ 16 時 30 分

【会場】ゲートシティ大崎 (JR 山手線大崎駅徒歩 1 分)

【主催】絵本学会、2000 年ドキドキワクワク子どもの本ワールド実行委員会

【協力】世田谷文学館

## ◆ 第 1 部 問題提起

11 時 10 分～ 12 時 30 分

今回の絵本フォーラムのテーマ「こども・絵本・いのち」について、それぞれの立場から問題提起をしていただきます。

1. 作家の立場から 田島征三 (絵本作家)

2. 児童文学者の立場から 桂宥子 (岡山県立大学助教授)

3. 絵本専門書店の立場から 三輪滋 (名古屋メルヘンハウス)

## ◆ 第 2 部 談話サロン

13 時 30 分～ 15 時 00 分

3 部屋に分かれ、第 1 部の話題提供者を囲んで、互いに語り合うひとときです。

## ◆ 第 3 部 報告・座談会

15 時 00 分～ 16 時 30 分

各談話サロンからの報告と、話題提供者による座談会を行います。

【参加費・定員】 絵本学会会員 500 円、非会員 1000 円

定員 150 名・先着順

【参加申込方法】 往復はがきに、住所、氏名、性別、電話番号、会員・非会員、参加談話会名 (田島、桂、三輪) を明記し、7 月 13 日 (水) までに下記へ。

【参加申込・問い合わせ】 世田谷文学館 絵本フォーラム係

〒 157-0062 東京都世田谷区南烏山 1-10-10

TEL : 03-5374-9111 FAX : 03-5374-9120

※2000 年 子ども読書年「ドキドキワクワク子どもの本ワールド」のそのほかのイベント内容は、インフォメーションのページに紹介しています。

## ● 2000 絵本フォーラム in やまがた

- 絵本で元気になろう ! -

今、日本で最先端をいく絵本作家の荒井良二さん。編集者・デザイナーとしてたくさんの絵本を世に送り出してきた小野明さん。山形にゆかりのある親友同士のお二人をお招きして、ホットな対談とハッピーな絵本作りの秘密をおうかがいします。お二人のあたたかな人柄と絵本作りにかける情熱は、わたし達をもっと元気にしてくれることでしょう。

- プロフィール -

・ 荒井良二 (山形市出身) 1956 年生れ

日大芸術学部卒業 絵本創作の他、雑誌広告、舞台美術などで幅広く活躍。講談社イラストレーション 90 新人賞。「うそつきのつき」で 97 年小学館児童出版文化賞。「なぞなぞのたび」(フレーベル館) ポロニーヤ国際図書展特別賞。

・ 小野明 (お父様が山形市出身) 1954 年東京生れ

編集者、装幀家、ミキハウスの昔話絵本シリーズをはじめ、企画・編集・デザインで 250 冊以上の絵本・児童書作りに参加。絵本ワークショップ「あとさき塾」主宰。共著「五味太郎のデザインワーク」(クレヨンハウス)。共著「絵本をよんでみる」(平凡社)。編著「100 人が感動した 100 冊の絵本」(平凡社)

【日時】2000 年 5 月 19 日 (金) 10 時 00 分～ 15 時 30 分

【会場】遊学館ホール

【主催】絵本学会、やまがた絵本クラブ

【後援】山形県立図書館・山形市教育委員会・山形図書館協会

## ◆ 第 1 部 講演と対談『絵本で元気になろう』

## ◆ 第 2 部 ゲストとお話しする会『絵本をもって集まろう!』

荒井さんの部屋「私が好きな荒井さんのこの一冊」

小野さんの部屋「私が元気の出るこの一冊の絵本」

※参加者は当該絵本をご持参下さい。

【参加費・定員】 絵本学会会員 500 円、非会員 1500 円

定員：第 1 部 300 名

第 2 部 各部屋 30 名 (申し込み順)

保育：無料・要予約 25 人

【参加申込・問い合わせ】 やまがた絵本クラブ 担当：加藤

TEL・FAX : 023-643-9575

# 伝言板

## ●「写真を使って絵本を作ろう講座」の連載を通して、写真絵本の可能性を提案

No.6の『絵本学会NEWS』伝言板でお伝えしましたように、ミネルヴァ書房の『発達』という雑誌で、第77号から第82号まで「写真を使って絵本を作ろう講座」の連載をしてきました。第1回「子どもの夢を絵本にしよう」、第2回「ぼく・わたしを絵本にしよう」、第3回「かたちの見方・考え方を育てよう」、第4回「おもしろい写真を絵本にしよう」、第5回「いろいろな写真遊びを絵本にしよう」と続けていましたが、この4月の第6回「物語を作り写真絵本にしよう」で完結しました。

中川素子・和田直人・石井光恵の共同企画で、それぞれの持ち味を生かしながら、写真絵本の可能性を提案してきました。このシリーズの目論見は、写真を使っての絵本で、誰でもが思いつくままに楽しく作れる絵本を目指し、さらに絵本自体の概念も刷新していくというものです。そのようなことですので、「えっ? これも絵本?」という面白い絵本に出会うことができますよ。まだ、アイデア提供の段階で、実際の絵本(商業的な意味での絵本)にはなっていませんが、そのうちそうなるといいなという希望のもとに、自下出版社に売り込み中です。ご覧いただいたかたは、どうぞご感想をお寄せ下さい。(石井光恵/絵本学会運営委員)

## ●うらわ美術館 開館記念展

この4月に開館した“うらわ美術館”的2番目の開館記念展「もうひとつの扉—20世紀・アーティストの本」が、7月1日~8月27日まで開催されます(詳細は10P)。ピカソ、マティス、ミロ、J・ケージ、フルクサス、クリスト、キーファーなどの作品が展示される予定です。会期中、三つの講演会があり、中川は、その中で絵本についても触れるつもりであります。

## \*連続記念講演会

### 1. 「本の魅力とその歴史(仮題)」

7/8(土) 14:00~15:30 坂本満(当館館長)

### 2. 「アートとしての本—アヴァンギャルドから現在まで—(仮題)」

7/15(土) 14:00~15:30 中原佑介(美術評論家)

### 3. 「**「本のアート」から広がる世界(仮題)**」

7/22(土) 14:00~15:30

中川素子(文教大学教授/造形評論家/絵本学会運営委員)

「絵本」というものを考えるうえでも、会員の皆様にはぜひ見ていただきたい展覧会ですので、ご紹介いたしました。(中川素子)

## ●田島征三さんのエッセイ出版

『日の出の森をたすけて』-子どもの未来を奪うごみ処分場- (絵と文 田島征三)刊行のお知らせです。  
東京・日の出の森からサンショウウオもフユイチゴも消えた-  
ダイオキシンが漏れだす ゴミ処分場を造る行政を糺す  
愛とユーモアに溢れた絵本作家の最新エッセイ  
・『日の出の森をたすけて』-子どもの未来を奪うごみ処分場- (法藏館)  
・絵と文 田島征三 定価 本体1600円(税別)  
・四六判上製カバー装・136頁・カラー1口絵・10頁イラスト多数  
\*この本の印税は日の出の森を守るために使われます。

絵本関係  
展覧会・イベント

# information

## ●安曇野ちひろ美術館

### 《ちひろのあかちゃん》

2000.4.28~7.4

ちひろにとって「あかちゃん」や「子ども」は生涯大切に描き続けたテーマでした。なかでも、1971年にはベビーパウダーの広告などの仕事を通じて、優れた赤ちゃんの作品が多く生まれています。今回代表作コーナーでは、画家としての成熟を見せつつあるこの時期に描いた「あかちゃん」の作品を中心に紹介します。

### 《バーナデット・ワツ展》

2000.4.28~7.4

グリムやアンデルセンなどの古典童話を詩情豊に描き出し、国際的にも高く評価されているイギリスの女流画家、バーナデット・ワツ。この展覧会では、西村書店のコレクションのなかから、代表的な絵本原画の他、子どもの頃のノートや画学生時代に描かれた作品など約75点を展示し、彼女の画業全体を紹介します。

### \*同時開催《世界の絵本画家》

2000.4.28~7.4

新しくコレクションに加わった、フセイン・ジャマアーン(スーダン)、ヌーレディン・ザリンケルク(イラン)、長新太(日本)の作品など、10ヶ国22人の画家による約40点の作品を紹介します。

### \*毎月第2第4土曜日は以下の催しを行っています。

・おはなしの会 11:00~

・ギャラリートーク 14:00~

【開館】9:00~17:00(G.W.・8月は18:00まで)

【休館日】水曜日(祝日は開館、翌日休館) 4/27、7/6 展示替えのため臨時休館

【入館料】大人800円・中高生500円・小学生300円(20名以上の団体、障害者手帳をお持ちの方と)

その介添えの方、65歳以上は100円引き)

〒399-8501 長野県北安曇郡松川村西原

TEL:0261-62-0777

HomePage: <http://www.chihiro.or.jp/>

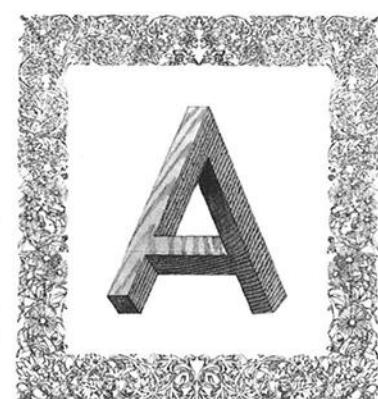
## ●ちひろ美術館(東京)

### 《安野光雅セレクション

### ちひろとあんの展》

2000.4.20~7.9

日本を代表する絵本画家、安野光雅といわさきちひろ。絵本の新しい可能性を切り開いてきた数々の作品は、多くの子どもたちに親しまれ、さらに大人にも絵本の楽しさを広げました。本展は豊かな感性と独創的



安野光雅「ABCの本」より 1974年

な視点を持つ安野光雅が、子どもの造形を中心にちひろの魅力を探り、構成する展示です。



いわさきちひろ 1960年(41歳)



屋根裏のアトリエで本を読む自画像(部分)  
1947年頃

\*毎月第2第4土曜日は以下の催しを行っています。

- ・ギャラリートーク 每月第2土曜日 14:00～
- ・絵本のじかん 毎月第4土曜日 11:00～

【開館】10:00～17:00(金曜日は19:00まで)

【休館日】月曜日(祝日は開館、翌日休館)

7/10・11・12は展示替えのため臨時休館

【入場料】大人500円・中高生200円・小学生100円(20名以上の団体、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方とその介添えの方は2割引)

〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2

TEL:03-3995-0820

HomePage: <http://www.chihiro.or.jp/>

#### ●軽井沢絵本の森美術館

2000年特別展《ブラティスラヴァ世界絵本原画展》

2000.4.29～6.11

\*併設展《欧米絵本のあゆみ展》

2000年夏の企画展 開館10周年記念展

《10年の軌跡展—絵本作家からのメッセージ》

2000.6.15～10.9

今展では、20世紀を代表する絵本作家達の原画、そして絵本懐に大きな意味を投げかけた絵本を中心に展示します。絵本の「これまで」と「これから」を見据え、21世紀に美しい絵本文化を残していく—そのような願いをこめた展覧会です。

\*併設展《東欧・ロシアの絵本を求めて—民話の宝庫を行く—》

【開館】3～6月、10・11月9:30～17:00

7～9月 9:30～17:30

12～1月 10:00～16:00

【休館日】火曜日(5月2日は開館)

【入場料】大人800円・中高生500円・小学生400円

エルツ共通 大人1000円・中高生700円・小学生500円

〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町塩沢182-1

TEL:0267-48-3340 FAX:0267-48-2006

HomePage:<http://shinshu.online.co.jp/museum/ehonomori/>

#### ●エルツおもちゃ館博物館(軽井沢)

春展《おもちゃのイースター展》～うさぎがはこぶ花のプレゼント～  
開催中～2000.6.11

イースター(復活祭)－それは処刑された主イエス・キリストのよみがえりを記念する祝祭であり、キリスト教における重要な行事です。その歴史はクリスマスよりも古く、春分の日を過ぎた最初の満月後の第一日曜日に行われます。今展ではこの「再生」の祝祭を、イースターのおもちゃと共にご覧頂きます。ウサギと卵、また春の到来を意味する「花々」のおもちゃを中心に、イースターの習俗、そして春の喜びを感じていただけましたら幸いです。

夏展《ノアの方舟—おもちゃに込められた聖書の世界》

2000.6.15～10.9

【開館】3～6月、10・11月9:30～17:00

7～9月 9:30～17:30

12～1月 10:00～16:00

【休館日】火曜日(5月2日は開館)

【入場料】大人400円・中高生300円・小学生200円

絵本の森共通 大人1000円・中高生700円・小学生500円

〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町塩沢193-3

TEL:0267-48-3340 FAX:0267-48-2006

HomePage:<http://shinshu.online.co.jp/museum/ehonomori/>

#### ●氷上町立植野記念美術館

《たろうとでかけよう！ ほりうちせいいち絵本原画展》

2000.4.22～5.28

堀内誠一さん(1932～1987)は、日本の広告や雑誌の世界の最前線で活躍したグラフィックデザイナーとして知られています。とくに『平凡パンチ』や『アンアン』『ブルータス』など時代をリードする雑誌の創刊に深く関わり企画と編集に自ら取り組みました。一方で堀内さんは絵本の世界でもとても重要な足跡を残しました。なかでも『ぐるんぱのようちえん』や『こすすめのぼうけん』『たろうのとでかけ』などは今なお人気のある作品です。今回の展覧会では、デビュー作『くろううまブランキー』から最晩年に復刊された『おにまるのヘリコプター』まで、30年間にわたる絵本の仕事の中から14作品を選び、その原画を文とともに紹介します。堀内さんの今なお新鮮さを失わないみずみずしい表現をぜひお楽しみ下さい。

\*記念講演会

「堀内誠一さんの絵本表現」

[日時] 2000.5.7(日) 13:30～

[講師] 香曾我部秀幸氏(美術史家、絵本研究家、絵本学会企画委員長)

[場所] 美術館2階研修室

◎要電話予約 0795-82-5945

\*親子ワークショップ  
「みんな、絵本画家にチャレンジだ！！」  
【日時】2000.4.22（土）・23（日）13:00～  
【講師】亀田正司氏（姫路市立美術館 学芸課主任）  
【場所】美術館2階研修室  
【対象】幼児（5歳）から小学校3年生  
【定員】50人 ◎要電話予約 0795-82-5945  
◎参加費無料（但し画材は各自で用意して下さい）

【開館】10:00～17:00（入館は16:30まで）  
【休館日】月曜日（祝日の場合は翌日）  
【入館料】大人 500円・学生 300円・小中生 200円  
ココロンカード利用可 20名以上団体割引あり  
【主催】氷上町立植野記念美術館・神戸新聞社・神戸新聞文化財団  
【後援】兵庫県教育委員会・氷上郡町村町会・氷上郡教育委員会  
氷上郡保育協会・サンテレビジョン・AM神戸  
〒669-3603 兵庫県氷上郡西中615-4  
TEL:0795-82-5945  
HomePage:<http://www.hanshin.or.jp/>



© SEIICHI HORIOUCHI 1967 「たろうのともだち」福音館書店発行

### ●世田谷文学館 開館5周年記念『谷川俊太郎絵本の仕事展』

2000.7.8～8.27

「こっふ」「これはのみのびこ」「ことばあそびうた」「わたし」など、多くのファンを持つ傑作絵本や、詩人ならではの実験的な絵本の中から代表作15作品の原画約200点を中心に、構想メモなど周辺資料も合わせて紹介します。

\*トーク&サイン会  
2000.7.9（日）14:00～16:00

谷川俊太郎（詩人）

\*トーク&コンサート

「『谷川俊太郎絵本の仕事展』によせて」

2000.7.15（土）17:30～19:00

谷川俊太郎、小室等（ミュージシャン）、谷川賢作（作曲家・ピアニスト）

\*トーク

「ようこそ、谷川俊太郎の絵本の世界へ」

2000.8.13（日）14:00～15:30

生田美秋（世田谷文学館学芸係長）

《夏休みこども文学館》

\*創作講座「絵本を作ろう」

【日時】2000.7.20（木）・21（金）・25（火）・26（水）  
13:00～16:00  
【講師】町田万里子（筑波大学付属小学校教諭）  
【定員】20人（事前申込制）  
【対象】小学校2年生から中学生まで

\*ワークショップ  
「宮沢賢治の『オツベルと象』を身体で読む、身体で遊ぶ」  
【日時】2000.8.4（金）10:30～16:30  
【講師】ものがたり文化の会  
【定員】20人（事前申込制）  
【対象】小学校高学年から中学生まで

\*文学館探険隊「夏休みフォト日記をつくろう」  
【日時】2000.7.29（土）・8.2（水）・8.3（木）  
13:00～16:00  
【定員】30人（事前申込制）  
【対象】小学生（3年生以上）

【開館】10:00～18:00（入館は17:30まで）  
【休館日】月曜日（祝日の場合は翌日）  
【入館料】大人300円・大高生200円・小中生100円  
・65歳以上・障害者150円  
イベントは無料、企画展は内容によって観覧料が異なります。

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山1-10-10  
TEL 03-5374-9111

### ●イルフ童画館

開館2周年特別展《初山滋 展》

～春風にのって 夢いっぱい 童画いっぱい～

武井武雄・初山滋、2大巨匠の夢の饗宴がここに実現した…

開催中～2000.6.14

武井武雄とともに『童画の世界』を支え続けた童画家、初山滋。型にとらわれない自由な発想から生まれた作品は、他の追従を許さない独創性と線描の美で描かれた、まさに初山ワールドです。“天才の童画家”が描き出す淡く美しい色彩の世界は、わたしたちを優しい夢の中へと運んでくれるでしょう。



初山 滋

夏休み特別展《武井武雄絵本原画展》  
～イソップ物語からキンダーおはなしえほんまで～  
2000.6.16～8.30  
なつかしい あの絵本のシーンが 今、よみがえる…

\*第1回武井武雄記念 日本童画大賞  
《受賞作品展》  
2000.5.4～5.10  
大賞をはじめ約40点の素晴らしい受賞作品展。第2の武井武雄を目指す、若き作家の傑作ぞろい。  
[会場] おかや東急百貨店 4回催し物会場  
[入場料] 無料

【開館】10:00～18:00(7、8、9月は19:00まで)

【入館料】一般800円・中高生400円・小学生200円

※20名以上の団体割引あり

【交通】JR中央本線岡谷駅下車 徒歩5分  
長野自動車道 岡谷I.Cから車で5分  
\*車でお越しの方は市営駐車場を御利用下さい。

〒394-0027 長野県岡谷市中央町2-2-1  
TEL:0266-24-3319 FAX:0266-21-1620  
HomePage:<http://www.city.okaya.nagano.jp/ilf>

●うらわ美術館  
《もうひとつの扉—20世紀・アーティストの本》

2000.7.1～8.27  
20世紀は本と美術の世界が歩み寄り、互いに刺激しあいながら「本をめぐるアート」が様々に展開した世紀と言えるでしょう。この展覧会では、本という複合的、重層的な世界に関わったアーティスト達の作品を取り上げ、美術と本との関係とその可能性を探ります。  
21世紀を目前に控え、本という新しい視点で20世紀美術のもう一つの側面をご紹介します。

\*連続記念講演会

1. 「本の魅力とその歴史（仮題）」  
7/8（土）14:00～15:30  
坂本満（当館館長）
2. 「アートとしての本—アヴァンギャルドから現在まで—（仮題）」  
7/15（土）14:00～15:30  
中原佑介（美術評論家）
3. 「〈本のアート〉から広がる世界（仮題）」  
7/22（土）14:00～15:30  
中川素子（文教大学教授/造形評論家/絵本学会運営委員）

【開館】10:00～21:00

【休館日】月曜日(祝日は開館、火曜日休館)

【入場料】大人600円・大高生400円・中学生200円(20名以上の団体100円割引、中学生50円割引)

〒336-0007 浦和市仲町2-5-1 浦和センチュリーシティー3階  
TEL:048-827-3215 FAX:048-834-4327

詳しくはうらわ美術館までお問い合わせ下さい。

## ●大阪国際児童文学館

《1970年・万博の年に出版された 子どもの本》

2000.4.1～2000.6.29

「大きな一年生と小さな二年生」「ロボットカミイ」など、今も愛読されている作品がたくさん出版されました。戦後、新しく登場した作家たちが大きく羽ばたき、現代の児童文学の実りがみられます。

\*2000年度 児童文学連続講座

《古屋信子『花物語』を読む》

少女小説の代表作である『花物語』を、少女小説の歴史かや女性・少女をとりまく社会的な背景もふまえて、あわせてフェミニズムの立場からの再評価も視野に入れながら読み直します。

講師：小松聰子（当館専門員。日本の少女小説について研究）

連続8回 14:00～16:00

4.22（土）6.24（土）

5.13（土）7.8（土）

5.27（土）7.22（土）

6.10（土）8.5（土）

[会場] 府立国際児童文学館セミナー室

[受講料] 5000円（資料費及びコピー代。開講後は受講料はお返しできません）

[テキスト] 『花物語』上巻（国書刊行会 1845円）（希望者には初日に販売いたします）

[定員] 30人（先着順）

[受講形式] 受講者全員が順番に発表するゼミ形式です。

[申込・問合せ方法] 往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入して、下記宛に御送り下さい。

〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園 10-6

大阪府立国際児童文学館「『花物語』連続講座」係まで

《物語体験クラブ》

「友だち」をテーマにした絵本や児童文学作品の物語世界を、こえやからだを使いながら遊びます。また、本の紹介なども行います。

講師：土井安子（当館専門員）

連続6回 10:30～12:00

2000.4月～6月の第2、第4土曜日

[会場] 府立国際児童文学館セミナー室

[参加料] 500円(6回分)

[定員] 小学校2～3年生 15人（先着順、なるべく6回通して参加できる方）

[申込方法] 往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入して、下記宛に御送り下さい。

〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園 10-6

大阪府立国際児童文学館D係まで

〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園 10-6

大阪府立国際児童文学館内

財団法人大阪国際児童文学館

TEL:06-6876-8800 FAX:06-6876-8686

HomePage:<http://www.ksi.ne.jp/iiclo/>

### ●絵本の樹美術館

《竹田津実動物の写真展》

～わが隣人キツネたち～

《安野光雅ポスター展》

開催中～2000.6.11

～子ども参加型 お話シリーズ第2弾～

《“ももたろう”になってみようよ！》案・制作 野口光世

《石井聖岳絵本原画展》

『つれたつれた』全点

2000.6.17～9.10

《川端誠絵本原画展》

『十二支のお節料理』全点ほか

《石原誠動物の写真展》

『ウンチをしたのはだーれ？』

2000.9.15～11.26

### \*野山に遊ぶ館外活動へのおさそい

ここ甲斐の国の自然の豊かさを知れば知るほど、1日ゆっくり、山歩きに野山に皆様をおさそいしたくなります。名称は《びすたーり山歩きの会》(びすたーりはネパール語でゆっくりゆっくりという意味です) 年4回ほど地元有志による引率の下に、周辺の山を歩くほか、春と秋には山菜採りときのこ採りを行います。年齢は小学生から大人まで。少人数制、会員制です。年間プラン、お問い合わせは返信用封筒に住所氏名、80円切手を貼り、別に資料代として切手を200円分同送して下さい。美術館でも直接お問い合わせ下さい。

【開館】10:00～17:00

【休館日】水・木曜日(冬期閉館)

祭日・8月無休

【入館料】大人 700円・3才～中学生 300円

※ 10名以上 団体割引有

〒409-1501 山梨県北巨摩郡大泉村西井出字石堂 8240-4579

TEL & FAX:0551-38-0918

東京事務所(びすたーり内)

TEL & FAX:03-3439-9675

### ●フジタヴァンテミュージアム

《ヴァンテ世界の絵本展 2000》

2000.4.29～5.10

今回で9回目を迎える「ヴァンテ世界の絵本展 2000」。ヨーロッパ、アメリカをはじめ、アジア、アフリカ等88カ国、4700冊の絵本を紹介します。自由に手にとって絵本を楽しんでいただける展覧会です。今回は特別展として、青山南と阿部真理子による書き下ろし創作絵本も登場します。また、絵本を立体的に楽しんでいただくために講演会、絵本コンサート等の開催も予定しています。是非、御家族でお楽しみ下さい。

### \*ヴァンテカルチャーリング

・講演会「翻訳絵本を語る（仮題）」講師：青山南

2000.5.7 14:00～15:00(予定)

・講演会「絵本アート・再考（仮題）」講師：吉田新一（監修、立教大学名誉教授）

2000.5.9 16:00～17:30(予定)

【会場】フジタヴァンテ 2F ヴァンテシアター

【定員】50名

【参加費】1000円

【申込方法】電話予約（先着順）TEL03-3796-2486

### \*同時開催イベント

・ケロポンズ絵本コンサート

出演者：増田裕子、平田明子 ゲスト：小川和隆（ギター）

2000.5.5 14:00～16:00(予定)

・ブルース演奏&芝居「源八橋西詰」たこやきキラーズ vol.2

2000.5.5 18:00～19:30(予定)

〈ブルース演奏：18:00～18:30〉

スリーピー&イイノ（ブルースハープ演奏：飯野和好）

〈芝居：18:30～19:30〉

作：後藤ひろひと 演出：TAKO

出演：斎藤剛、花房尚作、山口真奈

【会場】フジタヴァンテ 2F ヴァンテシアター

【定員】100名

【参加費】2700円（ブルース演奏&芝居「源八橋西詰」たこやきキラーズ vol.2 は 前売り 2500円）

【お問合せ・申込先】オフィス・スエルトン TEL0426-68-0375

【開館】10:00～18:00

【休館日】木曜日(5/4 開館)

【入館料】無料

〒151-8570 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-6-15

TEL:03-3796-2486 FAX:03-3796-2205

HomePage:<http://www2.fujita.co.jp/vente/>

担当学芸員:山口和美



「ヴァンテ世界の絵本展2000」メインビジュアル イラストレーション：阿部真理子

### ●ブライアン・ワイルドスミス美術館

《ワイルドスミスの色彩—グッシュの魅力》

開催中～2000.6.6

ワイルドスミスが絵本を描くときに最も好んで使用している画材としてグッシュ（不透明水彩）が挙げられます。グッシュの性質

を生かした、ワイルドスミス独特の様々な表現方法に注目し、作品をご紹介いたします。

\* 1階常設展示室

常設作品のひとつ『石坂浩二のマザーグース』に加え、秋に新装版洋書が出版された『イースターストーリー』を展示いたします。

【開館】9:00～17:00(入館は16:30まで)

【休館日】水曜日

【入館料】一般 700円・小学生 500円(祝日は開館)

〒413-0235 静岡県伊東市大室高原9-101

TEL & FAX:0557-51-7330

\* (株)エム・エム巡回企画展覧会

《東欧絵本の世界展》

高浜市かわら美術館 2000.4.22～5.28

栃尾市美術館 2000.7.22～9.3

和歌山県立近代美術館 2000.9.19～10.22

北海道立帯広美術館 2000.12.8～2001.1.24

《飛鳥童の世界 地球の詩展》

東京大丸ミュージアム 2000.7.27～8.8

札幌三越店 2000.8.15～8.22

刈谷市美術館 2000.11.30～12.17(予定)

●斑尾高原絵本美術館

《ミッフィー誕生45周年記念 ディック・ブルーナの世界展》

開催中～6.12

2000年はミッフィーが誕生して45周年の特別な年。当館の5周年記念とあわせて大人気のブルーナ展を開催します。

【開館】9:30～18:00

【休館日】火曜日(祭日の場合は開館、翌日休・GWは無休)

【入館料】700円(飲物付)※幼児無料

〒389-2257 長野県飯山市斑尾高原八坊塚11492-224

TEL & FAX:0269-64-2807

●竹久夢二美術館

《生活の芸術化展》～〈夢二趣味〉の生活への反映～

2000.4.1～6.27

大正3年10月、東京の日本橋呉服町に間口二間の小さな店が開店します。その名は「港屋絵草紙店」。通商港屋は、当時売り出し中の新進画家・竹久夢二がデザインする小物を扱う店として、また、彼を慕う若い芸術化の卵や、作家、文学者が集うサロンとして人気を得ました。この展覧会では、夢二がデザインした千代紙や封筒、便箋などの手工芸品から、書籍や雑誌、ポスター等、美的生活の実現を目指して生み出された日用品と〈夢二趣味〉に彩られた遺品類を同時に展覧し、竹下夢二による〈生活の芸術化〉のプロセスを辿ります。

【開館】10:00～17:00(入館は16:30まで)

【入館料】一般 700円・大高生 600円・中小生 400円

(隣接の弥生美術館と共に)

※立原道造記念館も観賞できる三館共通券(1000円)有

【休館日】月曜日(4/29～5/7無休)

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-2

TEL:03-5689-0462 FAX:03-3812-0699

●弥生美術館

《藤田ミラノ展》

～ヨーロッパに花開いた日本の抒情～

2000.4.1～6.27

藤田ミラノは、日本では1950～60年代の『女学生の友』や『ジュニア文芸』等の抒情画で知られています。彼女が描いた少女たちは、ただ美しいだけではなく「孤高」とも言える気品をまとい、意志的な強さを感じさせます。ミラノは、パリに移り住み、1970年代から作品を発表し始め大変な人気を呼びました。しかし、国外で華やかに活躍した日本女性の存在は、国内ではありません。この度、藤田ミラノの帰国を記念して、彼女の画業を辿る初の展覧会を開催します。

\*展覧会と同時に、小学館より藤田ミラノの画集が発売されます。

『あしたの少女たち～挿絵画家、藤田ミラノの世界～』

藤田ミラノ著 定価2415円(税込)



藤田ミラノ「四季の少女 冬」(スウェーデン スキャンデコール社 昭和60年)

【開館】10:00～17:00(入館は16:30まで)

【休館日】月曜日(4/29～5/7無休)

【入館料】一般 700円・大高生 600円・中小生 400円

(隣接の竹久夢二美術館と共に)

※立原道造記念館も観賞できる三館共通券(1000円)有

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-3

TEL:03-3812-0012 FAX:03-3812-0699

●2000年 子ども読書年

－ドキドキワクワク 子どもの本ワールド－

《特別ゲストが繰り広げる楽しいステージ》

7月20日(祝)「波瀬満子さんの“アイウエオ・ことばのステージ”」

7月23日(日)「真理ヨシコさんの“ミュージカル・にじいろのしまうま”」(社)日本児童文芸家協会・協賛／金の星社

7月30日(日)「ケロポンズ(増田裕子さん・平田明子さん)オン・ステージ」

8月6日(日)「武田鉄矢さんの“読み語り”」〈主催／小学館〉

《毎日来ても、いつ来ても嬉しいイベント》

・「いのち」～21世紀のこどもたちへ～

現代絵本作家による200余点の絵本原画展

・「さっちゃんのまほうのて」(偕成社)

「絵で読む 広島の原爆」(福音館書店) 原画特別展示

〈主催／日本児童出版美術連盟〉

・CD-ROMによる絵本上映「カレーせんにんをさがせ」

〈社）日本児童文芸家協会〉

・JBBY朝日国際児童書普及賞 写真展

／点字絵本の世界・点字ワークショップ(社)日本児童図書評議会

・絵本フォーラム2000「こども・絵本・いのち」

〈絵本学会・協力／世田谷文学館〉

・読み聞かせアンドあそび・ブックトーク(日本子どもの本研究会)

・仙台弁で語るグリム童話・子どもによる読み聞かせ

〈親子読書・地球文庫全国連絡会〉

・布絵本による読み聞かせ・遊具による遊び

〈よこはま文庫の会・共催／横浜市〉

・軍手による手遊び・読み聞かせ〈この本だいすきの会〉

・大島町絵本館(富山県)による手づくり絵本のワークショップ

《記念講演会》

灰谷健次郎氏(社)日本雑誌協会

上橋菜穂子氏・田島征三氏

田畠精一氏・西村繁男氏

《大児童書展示即売会》

〈日本児童図書出版協会〉

《作品大募集～子ども創作コンクール～》

自分にしかかけない作品にチャレンジしよう！

〈協賛／公文教育研究会〉

お問合せ先 (社)日本児童文学者協会TEL:03-3268-0691

(社)日本児童文芸家協会TEL:03-3262-6026

◆紙芝居や似顔絵プレゼント、作家サイン会など続々と企画中です。

【会期】2000.7.20(木)～8.13(日)

【協賛・協力】東京書籍(株)・光村図書出版(株)・童心社・紙芝居だいすきの会・ひょうしげの会・教育画劇・世田谷おはなしネットワーク

【お問合せ先】日本児童出版美術家連盟 事務局

〒168-0064 東京都杉並区永福1-39-15 メゾンメイワ205

TEL:03-3321-6565 FAX:03-5930-8569

### ●ハロー・ディア・エネミー展

『絵本学会NEWS』No.7の伝言板で紹介した、ハロー・ディア・エネミー展の開催場所が決定しました。

ハロー・ディア・エネミー展は平和と寛容の精神をテーマに世界中から集められた絵本の展覧会です。

開催場所

・2000.4.22～5.10 東京都立日比谷図書館

100-0012 千代田区日比谷公園1-4 tel.03-3502-0101

・2000.5.16～28 徳島県立図書館

770-8070 徳島市八万町向寺山 tel.088-688-3500

・2000.6.4～18 高知こども図書館

780-8031 高知市永国寺町6-16 tel.088-820-8250

・2000.6.23～25 伊勢原市民文化会館

259-1132 伊勢原市田中348 tel.0463-92-2300

・2000.6.26～7.6 兵庫県芦屋市民センター多目的ホール

659-0068 芦屋市業平町8-24 tel.0797-31-4995

・2000.7.7～20 宝塚市立中央公民館

665-0033 宝塚市伊子志1-4-1 tel.0797-73-0606

・2000.7.23～29 和歌山県田辺市(会場未定)

・2000.8.2～16 富山県大島町絵本館

939-0341 富山県射水郡大島町鳥取50 tel.0766-52-6780

・2000.8.19～26 広島平和文化センター

730-0811 広島県広島市中区中島1-2 tel.082-241-5246

主催：JBBY日本国際児童図書評議会

企画：ドイツ・ミュンヘン国際青少年図書館

【お問い合わせ】東京都新宿区袋町25-30-203 TEL:03-5228-0051 FAX:03-5228-0053 e-mail:JDK03301@nifty.ne.jp  
JBBY日本国際児童図書評議会

### ●コマガタワールド 絵本とワークショップ

「コマガタワールド」は、グラフィックデザイナー駒形克己さんが、お子さんの誕生をきっかけに始めたユニークな絵本の世界です。  
駒形克己さんによるワークショップ

「ひとつがふたつ」

7月9日(日)午前の部10:30～、午後の部13:30～

《毎日つくって遊べます》

4月・5月は「のびるカード」、6月・7月は「くるりと変化」、  
ポストカード風の「顔」は全期間中毎日楽しめます。

午前の部10:30～、午後の部13:30～(当日受付)

【会期】2000.4.29(祝)～7.9(日)

【会場】霊山こどもの村遊びと学びのミュージアム

〒960-0807 福島県伊達郡霊山町大字石田字宝司沢9-1

TEL:024-589-2211 FAX:024-589-2210

<http://www.town.ryozen.fukushima.jp/>

E-mail:ryozen@cocoa.ocn.ne.jp

【会館】9:30～16:30 最終入園16:00

【休館】毎水曜日(ゴールデンウィークをのぞく)

【入館料】こども300円・大人600円

団体(20名以上) こども200円・大人400円

【主催】霊山こどもの村

【共催】霊山町、こどもの城(財団法人児童育成協会・動くこどもの城派遣事業)

【後援】絵本学会・社団法人日本国際児童図書評議会・福島県児童館連絡協議会・霊山町教育委員会・福島民報社・福島民友新聞社・NHK福島放送局・福島テレビ・福島中央テレビ・テレビユー福島

【協賛】特種製紙株式会社・富士ゼロックス株式会社

# 事務局からのお知らせ

## ●次期運営委員、監事候補者選出選挙の結果について

次期運営委員、監事候補者選出選挙の結果について、選挙管理委員会から平成12年3月7日理事会宛に書面にて報告されました。選挙結果は以下の通りです。

投票総数：216名、有効票：211票、無効票5票

### 運営委員

今井良朗164票、太田大八157票、松本猛152票、安野光雅133票、中川素子126票、澤田精一121票、石井光恵103票、三宅興子101票、松岡希代子89票、香曾我部秀幸86票、佐々木宏子73票、藤本朝巳69票、土井章史67票、生田美秋63票、片岡義男57票、杉田豊57票、笹本純54票、小野明52票

安野光雅氏、中川素子氏が次期運営委員を辞退、その結果得票数上位から今井良朗、太田大八、松本猛、澤田精一、石井光恵、三宅興子、松岡希代子、香曾我部秀幸、佐々木宏子、藤本朝巳氏まで10名の次期運営委員選出が理事会で確認されました。

監事 増成隆士168票、千田篤164票

次期監事として増成隆士、千田篤両氏の選出が理事会で確認されました。

## ●絵本学会研究紀要『絵本学』第3号論文公募のお知らせ

絵本学会研究紀要『絵本学』第2号は、現在編集中で、まもなく印刷に出す予定です。いましばらくお待ちください。

さっそくですが2000年度第3号の論文を公募いたします。下記の要領でふるってご投稿ください。

### 研究論文集投稿要領

1. 投稿者の資格：絵本学会会員および準会員

2. 掲載の対象：絵本に関する研究論文、調査研究、研究ノートで、未発表のもの。

3. 掲載者の決定：受理した論文は、査読の上編集委員会が掲載の採否を決定する。ただし不採用の理由は記さない。

4. 刊行までの日程：(1)原稿提出受付期間は、2000年9月30日まで(必着)とする。(2)掲載の採否は、編集委員会の議を経て12月15日までに決定し通知する。(3)刊行は、2000年度内とする。

### 執筆要領

1. 日本語による横書きとする。

2. 原稿枚数は、1論文あたり400字詰め原稿用紙で20枚から40枚までとする。

3. 原則としてワープロ原稿とし、表紙に原稿の種類(研究論文、調査研究、研究ノート)、論文タイトル(和文、英文)、執筆者名(ローマ字を併記)、所属機関、専門分野を明記する。

4. 执筆にあたっては、「執筆要領」に基づいて作成する。「執筆要領」は、事務局に請求すること。

5. ワープロ原稿には、フロッピーディスクを必ず添付すること。データは、ウインドウズまたはマックintoshデータ。

6. 図版はモノクロを原則とする。カラー図版を希望する場合は、自己負担とする。

7. 論文掲載者には、掲載誌5部と抜き刷り30部を無料で呈する。原稿提出先

原稿は絵本学会事務局宛に郵送すること(FAXによる送付は不可)。

## ●第3回絵本学会大会(2000年度)開催のご案内

前号でもお知らせいたしました通り、第3回絵本学会大会は、2000年6月10日(土)・11日(日)の2日間佐賀県伊万里市民図書館で開催いたします。大会プログラムは、以下の通り予定しております。参加申込方法などの詳細は別紙の案内をご覧ください。

全体テーマ：“絵本のミレニアム”－絵本の表現の可能性はどのように発達していくか－

2000年6月10日(土) 大会1日目

13:30 1日目大会 受付

14:00～ 開会式

14:30～15:20 基調講演 「絵本学の未来」 太田大八

15:30～16:50 パネルディスカッション 「絵本の未来表現の可能性」

17:00 総会受付

17:30～18:30 絵本学会2000年度総会

18:30～20:00 交流会

2000年6月11日(日) 大会2日目

8:30～ 2日目大会受付

9:00～10:50 研究発表

11:00～12:30 テーマ講演 「絵本の默示録」 長谷川集平

12:30～13:30 昼食

13:30～15:30 ラウンドテーブル(分科会)

1 絵本作家研究 レオ・レオーニ

2 絵本編集の未来

3 図書館の未来

閉会式

## ●理事会・運営委員会

12月18日 運営委員会 於：日本女子大学会議室

議題

・第3回絵本学会大会について

開催地を佐賀県伊万里市民図書館とすることとし、会長より正式に依頼することが確認された。大会のプログラムと内容は、三宅興子委員を中心に、伊万里市民図書館と交渉しながら決めていくことになった。

・次期運営委員の推薦について

役員改選については、1月末日を〆切とし、絵本学会ニュース第8号で公示することが報告された。

・機関誌発行について

澤田精一委員より企画案が提示され、現在の進捗状況が説明された。

・日本アニメーション学会と漫画学会(現在設立準備中)との合同シンポジウムについて

日本アニメーション学会と漫画学会(現在設立準備中)との合同シンポジウムに関する準備会に参加した中川素子委員より2000年秋に向けて検討されている旨の報告があり、今後の協力が了承された。

・その他

1月8日 運営委員会 於：日本女子大学会議室

伊万里市民図書館から犬塚まゆみ氏、森戸孝子氏が参加

議題

・第3回絵本学会大会について

大会のプログラムと内容が検討され、全体テーマを「絵本のミレニアム」に決定された。

<p>アム”－絵本の表現の可能性はどのように発達していくか－」とすることが確認された。</p> <p>スケジュール計画は、三宅興子委員に一任することになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本学会機関誌について</li> </ul> <p>澤田精一委員より機関誌の概要が説明された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エリック・カール氏インタビューについて</li> </ul> <p>1月27日、エリック・カール氏へのインタビューを行うことになり、松本猛委員が担当することになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究紀要委員会からの報告</li> </ul> <p>進捗状況が報告され、掲載内容の最終確定までまだ時間がかかり、発行が遅れることが了承された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本学会研究例会（案）について</li> </ul> <p>絵本学会研究例会（案）について香曾我部秀幸委員より説明があり、提案された案を検討した結果、名称は「絵本学会例会」とし、3月4日に第1回を開催することになった。第1回の状況を見て今後のことについては検討していくことになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本アニメーション学会と漫画学会（現在設立準備中）との合同シンポジウムについて</li> <li>・その他</li> </ul> <p>3月11日 理事会 於：日本女子大学会議室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次期運営委員、監事候補者選出選挙の結果について</li> </ul> <p>次期運営委員、監事候補者選出選挙の結果について、選挙管理委員会からの報告書に基づいて今井良朗事務局長より報告があった。</p> <p>中川素子氏が次期運営委員の辞退を表明、その結果中川素子氏を除いた得票数上位から今井良朗、太田大八、松本猛、安野光雅、澤田精一、石井光恵、三宅興子、松岡希代子、香曾我部秀幸、佐々木宏子氏まで10名の選出が確認され、書面にて選出結果を通知することが確認された。</p> <p>また、次期監事として増成隆士、千田篤両氏の選出が確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事候補者選出の日程について</li> </ul> <p>次期理事選出のため、次期運営委員による会議を4月1日開催することが決定。</p> <p>3月11日 理事会・運営委員会 於：日本女子大学会議室</p> <p>議題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次期運営委員、監事候補者選出選挙の結果について</li> <li>・第3回絵本学会大会について</li> </ul> <p>三宅興子委員より確定した大会プログラムの説明があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2000年度総会に向けた議題について</li> <li>・次期役員への引き継ぎ事項について</li> <li>・機関誌編集の進捗状況について</li> <li>・ゲートシティ一大崎でのイベントについて</li> </ul> <p>石井光恵委員より第1回実行委員会（2月9日）、第2回実行委員会（2月23日）の報告がなされた。絵本学会としては、8月6日開催を第1希望に「絵本フォーラム」で参加することになった。これに伴い香曾我部委員よりフォーラムの案が提案され了承された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マンガ・絵本・アニメーション合同シンポジウムについて</li> <li>・エリック・カール氏インタビューの報告</li> <li>・第1回例会の報告</li> <li>・研究紀要について</li> <li>・その他</li> </ul>	<p>4月1日 次期運営委員による理事選出手会議 於：日本女子大学会議室</p> <p>議題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次期理事の選出について</li> </ul> <p>次期運営委員7名が出席、次期理事に太田大八、中川素子、三宅興子、松本猛、今井良朗各氏が選出された。</p> <p>4月1日 運営委員会 於：日本女子大学会議室</p> <p>議題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次期理事の選出結果について</li> <li>・次期運営委員の繰り上げ選出について</li> </ul> <p>安野光雅氏より書面にて次期運営委員辞退の申し入れがあり、理事会が承認の上、次点の藤本朝巳氏の選出が確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回絵本学会大会について</li> </ul> <p>日程、時間などが再度確認され、研究発表の進行係などが決められた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2000年度総会に向けた議題について</li> <li>・次期役員への引き継ぎ事項について</li> </ul> <p>3年間の総括が行われ、継続課題などが審議された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その他</li> </ul>
--	---